

記入例

農地法第3条の規定による許可申請書

下記農地（採草放牧地）の(に) 所有権 を 移転 したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

令和 年 月 日

(無償の貸借の場合) 使用貸借権を設定  
(有償の貸借の場合) 賃貸借権を設定

亀岡市農業委員長 様

申請者

捨印

譲渡人(貸人) 京 都 太 郎

印

認印

捨印

譲受人(借人) 亀 岡 太 郎

印

記

1 申請当事者の氏名（名称）等

Table with 6 columns: 当事者, 氏名(名称), 年齢, 職業, 住所, 国籍. Rows include 譲渡人(貸人) and 譲受人(借人).

2 許可を受けようとする土地の所在等

Table with 10 columns: 所在・地番, 地目, 面積, 作付作物, 利用状況, 所有者氏名, 所有期間, 利用者氏名, 利用権原, 備考.

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由 高齢により規模縮小のため。 その他事由

(貸人)

譲受人の事由 農業経営を拡大するため。 その他事由

(借人)

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

明確な時期が未定であれば「許可日以降」と記入してください。

時期 令和 年 月 日 契約期間
対価 総額 円 3.3㎡当たり 円
(賃料(年額) 円)

5 権利を設定・取得しようとする当事者及びその世帯員等が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

土地の区分 ( )内には、 作付作物を記載すること。	譲受人(借人)					
	所有地			借入地		経営地合計 (①+④) m <sup>2</sup>
	自作地 ① m <sup>2</sup>	貸付地 ② m <sup>2</sup>	その他 ③ m <sup>2</sup>	現に耕作中の土地 ④ m <sup>2</sup>	その他 ⑤ m <sup>2</sup>	
田 ( 水稻 )	〇〇〇					〇〇〇
畑 ( 大豆 )				〇〇〇		〇〇〇
樹園地( )						
計	〇〇〇			〇〇〇		〇〇〇〇
採草放牧地						

※ ③については不耕作地の面積、⑤については不耕作地及び農地法第3条第2項第6号括弧書きに該当する貸付地の面積を記載すること。

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員等(構成員)がその耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況(法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況)

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	年間農作業 従事日数	農作業経験(研修) 年数
(世帯員等 構成員)	亀岡 太郎	56	本人	〇〇 日	〇〇 年
	亀岡 花子	56	妻	〇〇 日	〇〇 年
	亀岡 二郎	30	長男	〇〇 日	〇〇 年
雇 用 者	世帯員は全て記入(農業をしていない者も含む)				
	臨時雇用者	年間延べ従事日数			

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農機具及び家畜の保有状況

種類	農業用 自動車	トラク ター	田植機	コンバ イン	耕耘機				
既確保	1	1	1	1					
導入予定		1							

8 周辺地域との関係及び役割分担

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割分担を担う計画であるかを以下に記載してください。

- ・農業の維持発展に関する話し合い活動の参加
- ・農道、水路、ため池等の共同利用施設の取り決めの遵守



令和 年 月 日

亀岡市農業委員会長 様

住所 京都府亀岡市〇〇町〇〇番地  
氏名 亀岡 太郎  
電話 〇〇-〇〇〇〇



今般、下記の農地を(取得する・借り受ける)につき、農地法の遵守及び周辺地域との調和要件等において別紙誓約書を下記関係団体に提出しましたので報告します。

・誓約書提出先

申請地が土地改良区域内の場合記入

申請地が土地改良区域外の場合記入

必ず記入

- 1) 土地改良区 理事長
- 2) 区 区 長
- 3) 営農・農家組合 組合長
- 4) 農業委員
- 5) 農地利用最適化推進委員
- 6) 地区ほ場整備推進団体 会長・委員長

申請地がほ場整備計画区域内の場合記入

・農地の所在地

所在地	地番	地目	地積
〇〇町〇〇	〇〇	田	〇〇

# 誓約書

〇〇土地改良区 理事長

□□ □□

様

令和 年 月 日

地元関係団体の宛名を記入してください

例) 〇〇土地改良区理事長 ○○ ○○

〇〇農家組合長 ○○ ○○

住所 京都府亀岡市〇〇町〇〇番地

氏名 亀岡 太郎 印

電話 〇〇-〇〇〇〇

認印

今般、農地を（取得する・借り受ける）ことについて、農地法を遵守し下記のことを誓約します。

## 記

1. 農地法の趣旨を尊重し、農地を（取得・借り受け）後は2年以上耕作に常時従事し、その間は転用又は転売等はいりません。
2. 土地基盤整備事業、農業振興対策事業及び公共事業等が実施される場合は、積極的に協力します。
3. 周辺の地域における農地の効率的かつ総合的な利用の確保に支障がないように努め、下記のような権利取得にならないようにします。
  - ① 集落営農や担い手への集積等により、既に農地が面的にまとまった形で利用されている地域で、その利用を分断するような権利取得
  - ② 水利調整について、地域の農業者が一体的な取組を行っているような地域で、このような取組に参加しない営農が行われることにより、地域における取組が阻害されるような権利取得
  - ③ 無農薬や減農薬での付加価値が高い作物の栽培の取組が行われている地域で、農薬使用による栽培が行われることにより無農薬栽培等が事実上困難になるような権利取得
4. 農業用倉庫、畜舎等の農業用施設や、農道、土留工等の耕作に必要な施設を設置する場合は、農地法の規定を遵守し、所要の手続きを経たうえで実施し、都市計画法など関係法令の規定についても遵守します。
5. 農業生産性の向上を目的に、盛土など農地の地形を変更する場合は、「農地の形状変更指導要綱」を遵守し、所要の手続きを経たうえで実施します。

## 6. 連絡人（市外取得者等の場合）

住所 .....

氏名 ..... Tel. ....

## 7. 所在地

所在地	地番	地目	地積
〇〇町〇〇	〇〇	田	〇〇

